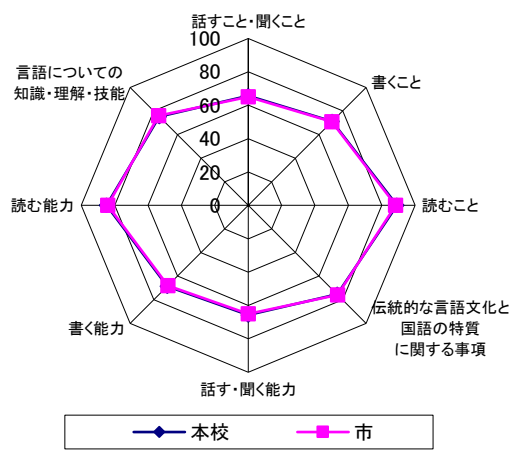


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                      | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 話すこと・聞くこと            | 65.7 | 65.0 | 62.9 |
|     | 書くこと                 | 71.3 | 70.9 | 71.3 |
|     | 読むこと                 | 89.1 | 88.4 | 87.2 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 75.4 | 75.8 | 75.3 |
|     |                      |      |      |      |
| 観点別 | 話す・聞く能力              | 65.7 | 65.0 | 62.9 |
|     | 書く能力                 | 68.7 | 68.0 | 68.0 |
|     | 読む能力                 | 84.8 | 84.2 | 82.8 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 75.3 | 75.9 | 75.6 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

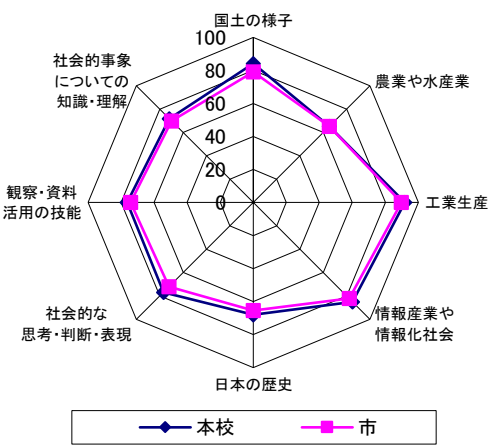
| 領域                   | 本年度の状況                                                                                                                                                       | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                   |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を0.7ポイント上回った。<br>○「司会者の役割を理解し、計画的に話し合うことができること」に関する問題については、市の平均を4.1ポイント上回った。<br>●「話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を捉えること」に関する問題については、市の平均を3.2ポイント下回った。 | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・国語科の授業はもちろんのこと、他教科や学級活動、委員会活動などの話し合う場面において、相手の意見を正確に聞いたり、自分の考えを明確にしたりする場をより多く確保する。<br>・話し合いの際、役割を固定せず、話し手や聞き手、司会者など、それぞれの立場で話したり聞いたりできるようにする。 |
| 書くこと                 | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を0.4ポイント上回った。<br>○「指定された長さで文章を書く」に関する問題については、市の平均を7.8ポイント上回っている。<br>●「2段落構成で文章を書く」に関する問題については、市の平均を3.9ポイント下回った。                            | ・段落構成を意識しながら、指定された文字数で書く学習の機会を増やしていく。また、国語科だけではなく総合的な学習などにおいて、目的に応じた文章を書けるよう指導し、さらに作文力を高める。                                                                                |
| 読むこと                 | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を0.7ポイント上回った。<br>○「説明文の内容を読み取る」については、市の平均を1.8ポイント上回った。<br>●「物語の内容を読み取る」については、市の平均を0.1ポイント下回った。                                             | ・「物語」については、情景描写や心情描写を的確に読み取れるように指導すると同時に、読み取ったことを互いに伝え合い、読みを深めていく学習活動を積み重ねていく。<br>・「説明文」については、段落相互の関係や文章構成をつかむ学習を積み重ねていく。また、接続詞や指示語などに注意しながら、要点をまとめたり要約したりする学習活動も取り入れていく。  |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率を0.4ポイント下回った。<br>○「漢字を書く」については、市の平均を1.4ポイント上回った。<br>●「漢字を読む」については、市の平均を0.1ポイント下回った。<br>●「言葉の学習」については、市の平均を2.6ポイント下回った。                     | ・漢字の読み書きについては、ドリル等で繰り返し学習を行う。そして、定着を図るために、小テストや単元末テストを活用する。<br>・「言葉の学習」については、文の構成（主語と述語など）について学習内容を振り返る。また、「読むこと」や「書くこと」を扱う単元でも、文の構成を確認することで、定着を図っていく。                     |
|                      |                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                            |
|                      |                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                            |

宇都宮市立御幸小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 国土の様子           | 84.2 | 79.1 | 74.9 |
|     | 農業や水産業          | 65.3 | 65.1 | 63.7 |
|     | 工業生産            | 91.8 | 89.7 | 86.2 |
|     | 情報産業や情報化社会      | 85.1 | 82.2 | 73.1 |
|     | 日本の歴史           | 68.0 | 65.4 | 65.6 |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現    | 76.9 | 72.2 | 69.0 |
|     | 観察・資料活用技能       | 76.3 | 74.3 | 69.2 |
|     | 社会的事象についての知識・理解 | 71.9 | 69.9 | 69.3 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

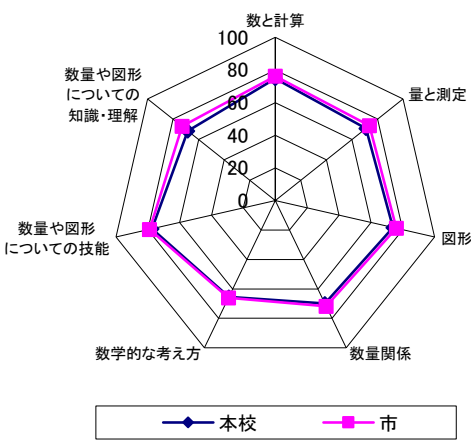
| 領域         | 本年度の状況                                                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                             |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国土の様子      | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を5.1ポイント上回った。<br>○「主な国の名称と位置」については、市の平均を9.1ポイント上回った。<br>●日本の国土については、市の平均を5.4ポイント上回ったものの64.2ポイントと低い正答率だった。                                                | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・今後も地図を活用し、教科書に出てくる内容を参照しながら位置の確認などをしていく。日本国内については、身近な地域とそうでない地域とがあるため、丁寧に確認し、地域の特徴等についても触れていく。                                                          |
| 農業や水産業     | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を0.2ポイント上回った。<br>○「日本の米作りの問題点について、資料を読み取り考えること」については、市の平均を11.2ポイント上回った。<br>●「米づくりの作業過程と季節についての問題」では市の平均を17.5ポイント下回った。                                    | ・作業過程など、分野の要点については教科書や資料集の図を活用し確認していく。また農林水産業については日本の気候の特色を生かした業種であるので丁寧に指導を行う。                                                                                                      |
| 工業生産       | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を2.1ポイント上回った。<br>○「優れた製品を生産するための工夫や努力」については、市の平均を3.5ポイント上回った。                                                                                            | ・需要側と供給側それぞれの立場に立っての学習が結果につながっていると思われる。工業生産に限らず、多面的な視点から物事を考える機会を設けていく。                                                                                                              |
| 情報産業や情報化社会 | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を2.9ポイント上回った。<br>○「マスメディアの種類」「情報ネットワークの利便性についての理解」はともに市の平均を上回った。                                                                                         | ・授業の内容と日常生活とを結びつけながら学習した内容である。情報のように身近な内容については、生活と結び付けて考えさせ、理解を深め実生活での力にもつなげていく。                                                                                                     |
| 日本の歴史      | ○本校の平均正答率は、市の平均正答率を2.6ポイント上回った。<br>○「鎖国について資料を読み取り考える問題」では、市の平均を12.4ポイント、「日清戦争についての理解」については、市の平均を16.7ポイント上回った。<br>●「書院造についての理解」では、市の平均を22.6ポイント、「文明開化についての理解」では10ポイント下回った。 | ・政策や戦争の内容・結果については資料を参照しながら定着を図ることができた。戦争については名前・起きた理由・戦いの内容・結果等ポイントを定めて理解を図り次の出来事とのつながりを考えていくという学習の流れを定着させていく。<br>・それぞれの時代の文化や人々の暮らしとの比較、変化の理由、その後の発展等を視点として、分析を丁寧にしながら、理解を深める必要がある。 |
|            |                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                      |

宇都宮市立御幸小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                  | 本年度  |      |      |
|-----|------------------|------|------|------|
|     |                  | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と計算             | 74.7 | 76.2 | 72.9 |
|     | 量と測定             | 71.0 | 73.6 | 70.6 |
|     | 図形               | 73.9 | 76.0 | 72.1 |
|     | 数量関係             | 69.9 | 71.8 | 66.9 |
|     |                  |      |      |      |
| 観点別 | 数学的な考え方          | 65.4 | 65.9 | 58.0 |
|     | 数量や図形□についての技能    | 77.4 | 78.9 | 76.2 |
|     | 数量や図形□についての知識・理解 | 68.6 | 73.1 | 70.4 |
|     |                  |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

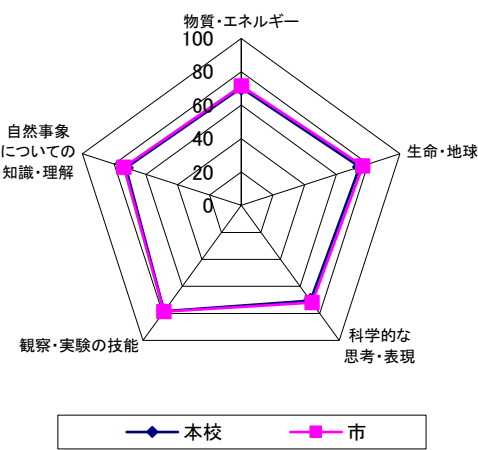
| 領域   | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                                                                                                         |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算 | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率を2ポイント下回った。<br>●「小数第一位×小数第一位の計算」や「分数の除法の意味について」の設問では、正答率が市の平均正答率を6ポイント下回った。<br>○「真分数＋真分数＝真分数で、分母どうしをかけ、通分をする計算」や「分数÷分数(約分あり)の計算」の設問では、市の平均正答率を6ポイント上回った。                                                                                 | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・計算力を高めるために、練習問題を繰り返し取り組んだり、さらにドリル等を活用して効果的な指導を工夫したりしていく。                                                                            |
| 量と測定 | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率を2ポイント下回った。<br>●「速さをもとに、ある道のりを移動するのにかかる時間を求める式を選ぶ道のりとかった時間から時速を求める式を選ぶ」設問では、市の平均正答率を5ポイント下回った。<br>●「教室の面積と児童の人数から、1㎡あたりの人数を求める式を選ぶ」設問では、市の平均正答率を16ポイント下回った。また、学校全体の正答率が14.9%と低かった。<br>○「2人の作業の速さを比較し、判断の理由を説明する」設問では、市の平均正答率を10ポイント上回った。 | ・数直線や図などを用いて、自分で説明する活動を増やしながら、意味を捉えさせていくことで定着を図っていく。<br>・計算だけでなく、文章題では線分図を使って考えることができるようにしていく。<br>・文や図などで説明することができるようにするため、必ず自分の考えを書かせ、ペアなどで他の人に説明する時間を設けるようにする。 |
| 図形   | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率を3ポイント下回った。<br>●「3辺の長さを使って、合同な三角形を作図する」設問では、正答率が市の平均正答率を7ポイント下回った。<br>●「平行四辺形について、線対称か点対称かを正しく説明した文を選ぶ」設問では、市の平均正答率を10ポイント下回った。<br>○「正六角形の作図法から、正三角形の内角の大きさと、正六角形の1つの内角の大きさを求める」設問では、市の平均正答率を10ポイント上回った。                                 | ・習熟度別少人数指導により、作図などきめ細やかな指導をより一層充実させる。さらに、習熟度別に合った指導法を考え、児童の理解に、結びつくようにしていく。<br>・図形の問題については、既習内容を確認し復習するために、ドリルやプリント等で繰り返し、定着を図っていく。                              |
| 数量関係 | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率をや2ポイント下回った。<br>●「調べた分量と作りたい分量の割合(比)を読み取り、足りない材料の量を求める」設問では、市の平均正答率を6ポイント下回っていた。また、学校全体の正答率が23.9%と低かった。                                                                                                                                  | ・比の学習は、中学校でも学習する内容なので、定着を図るよう、練習問題などで何度も確認し、理解していくようにする。                                                                                                         |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                  |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                  |

宇都宮市立御幸小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 物質・エネルギー       | 70.4 | 71.6 | 67.4 |
|     | 生命・地球          | 74.6 | 76.6 | 75.5 |
|     |                |      |      |      |
|     |                |      |      |      |
| 観点別 | 科学的な思考・表現      | 70.5 | 72.1 | 68.8 |
|     | 観察・実験の技能       | 78.4 | 78.7 | 76.3 |
|     | 自然事象についての知識・理解 | 72.6 | 73.9 | 71.5 |
|     |                |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域       | 本年度の状況                                                                                                                          | 今後の指導の重点                                                                                                  |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物質・エネルギー | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率をやや下回った。<br>○問題の内容の中で「電流のはたらき」は、市の平均正答率をやや上回った。<br>●「ふりこのきまり」では、振り子の周期は振り子の長さに関係あることを説明する正解率が、平均正答率を9.5%下回った。 | ・ある事象についての課題・予想・実験手順・考察を一つ一つ丁寧に確認する時間をより多く設け、体験的に学べる機会を増やし、技能面の定着を図る。<br>・復習のための小テストやワークシートを活用し、知識の定着を図る。 |
| 生命・地球    | ●本校の平均正答率は、市の平均正答率をやや下回った。<br>○「動物のからだのつくりとはたらき」の心臓の位置と名称を答える回答率が市の平均より9.9%高かった。<br>●だ液のはたらきを調べる実験の条件を修正する問題の正解率が16.8%と大きく下回った。 | ・調べようとするある1つの条件以外の条件を同じにして行う実験(対照実験)を意識させながら指導する。<br>・復習のための小テストやワークシートを活用し、知識の定着を図る。                     |
|          |                                                                                                                                 |                                                                                                           |
|          |                                                                                                                                 |                                                                                                           |
|          |                                                                                                                                 |                                                                                                           |
|          |                                                                                                                                 |                                                                                                           |

# 宇都宮市立御幸小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

## ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                       | 取組の具体的な内容                                                              | 取組に関わる調査結果                                 |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた職員研修の充実 | 一人一授業、一人一提案の実施。<br>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた相互提案と議論を継続して行い、互いの授業力向上に努めた。   | より対話的な授業を試行し、研修を続けてきたことで、国語学力全般の向上が見られた。   |
| 基礎的・基本的な学力の定着のための取り組み        | 漢字・計算チャレンジテストの年3回の実施。<br>朝五分読解ドリルの2学年以上実施。<br>計算ストレッチ。レベルアップ教室等を行ってきた。 | 国語・算数ともに、基礎的な事項の習熟度が向上している。今後も継続して行っていきたい。 |

## ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

|                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>年度当初の結果と比べると、基礎学力、応用力ともに、大きな進展が見られた。本校の職員研修（一人一提案・一人一授業等）、および、基礎学力向上のための諸方策（漢字・計算チャレンジテストの年3回の実施。朝五分読解ドリルの2学年以上実施。計算ストレッチ。レベルアップ教室等）が少なからず結果につながったと考えている。引き続き、本校の学力向上への取り組みを継続していくことで、全学年での学力の向上と安定を目指したい。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|